

ごみ指定袋表記変更について

1 目的

分かりやすい名称を使用することにより市民の分別意識の向上を図り、適正な分別を促すことで可燃ごみに含まれていた資源が適正に排出されることが期待できると思われるため、可燃ごみの減量化とともに、資源の適正排出による再資源化の推進を図るため、検討するもの。

2 実施自治体の実情

令和7年度（2025年度）中に、ごみ指定袋の表記変更を行った自治体を対象に、表記変更の効果を確認するためごみの搬入量のアンケートを実施した。

対象自治体は、近隣市町で、主にごみ指定袋の表記変更のみを行った自治体とした。

(1) 対象自治体

〇市	令和7年度（2025年度）4月
T市	令和7年度（2025年度）途中（9月に市民へPR）
K市	令和7年度（2025年度）4月
M市	令和7年度（2025年度）4月 (市場に出回り始めたのは10月)

(2) アンケート結果

別紙のとおり。

ア K市、〇市は、ごみ指定袋の表記変更後、ごみが減量した。

イ 4市すべて、ごみの減少率は、R7－R6よりR6－R5の方が大きい。

ウ T市、M市は、ごみ指定袋の表記変更後、ごみが増加した。

エ ごみ指定袋の表記変更後、資源の量が増えたのはK市のみ。

3 メリット

(1) 市民の分別意識の向上を図るきっかけとなる。

(2) 分別意識が進めば、ごみの減量が見込める。

4 デメリット

(1) ごみ指定袋の表記変更のみでは、ごみ減量があまり見込めない

全国でごみ指定袋の表記変更を行い、ごみの減量化に成功した自治体では、表記変更に合わせて、ごみ指定袋の料金改定や分別区分の拡大なども実施して

いる。

(2) 市民に周知するための費用の検討

ア 看板を取り替える場合

集積場所の看板の取り替え	3,080 円×2,600 カ所＝8,008,000 円
看板取り替えの人件費	420 円×2,600 カ所＝1,092,000 円
ごみと資源の出し方	2,556,675 円 (R7 見積)
カレンダー	469,573 円 (R8 見積)
合計	12,126,248 円

イ 看板を修正する場合

集積場所の看板の修正	62.7 円×2,600 カ所＝163,020 円
看板修正の人件費	420 円×2,600 カ所＝1,092,000 円
ごみと資源の出し方	2,556,675 円 (R7 見積)
カレンダー	469,573 円 (R8 見積)
合計	4,281,268 円

※看板代 2,800 円/1 枚・看板修正用シール 57 円/1 枚

集積場所 約 2,600 カ所

リサイクルセンター業務職員平均時給 1,680 円

1 カ所当たりに係る時間 15 分